

働き方改善で保育士確保を

答 所長会等で改善案を検討



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 現状の保育士は何人か。

答 (健康福祉部長) 正規99人、会計年度158人、派遣1人。

問 どれほど増員したいか。

答 現状で9人ほど必要だが、サービスを拡充する場合はさらに必要。

問 採用状況は。

答 9人から採用承諾書を受領。

問 今年度の退職予定数は。

答 今年度の途中退職者2人、年度末で7人の計9人の予定。

問 他市と比べてどうか。

答 同規模自治体に比べ多いと考える。

問 保育士の業務量の認識は。

答 簡略化できない業務や一部保護者の個別対応など、様々な業務が増加と認識。

問 持ち帰り残業等はあるか。

答 原則、持ち帰って仕事をしないよう指導。

問 負担軽減のための今後の方針は。

答 所長会等で保育業務における課題と改善策の検討を始めた。

問 土曜午後保育の認識は。

答 保育士を増員できれば実施する。

問 1か所から土曜午後保育を始めてはどうか。

答 一部保育所で実施する考えはあるが、現有保育士では困難。



問 桜学区の住環境整備を

答 様々な住環境の問題を認識



▲パディ東側道路

問 パディ東側の歩道・道路の認識と対応は。

答 (建設部長) 県がパディと協議中。舗装の損傷は市で修繕。

問 市役所北側交差点への認識は。

答 信号機は、日光大橋西線の整備に合わせて協議。

問 旧歴史民俗資料館の交差点への認識は。

答 根本的な安全対策は難しい。

問 社教センター北側の通りの歩道整備の認識は。

答 容易ではない。

問 狭あい道路の認識と対応は。

答 多額の事業費を要するので、慎重に対応。

問 排水路悪臭の認識と対策は。

答 悪臭の発生は認識。浚渫と下水道の接続率向上で対応。



▲市役所北側交差点